

# 移住風景

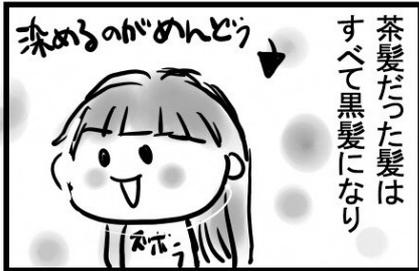
—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

## 変わりつつある価値観

今、国内だけでなく世界を巻き込んで、新型コロナウイルス感染症の話題ばかりですが、普段と違った事が起きていると感じます。人口密度が低く、農業で食料を自足できる人が多く、「三密」を満たさない農業という仕事。地方は、普段は人と物に溢れて便利な都会に比べて安心感がありました。そして、「コロナ疎開」というこれまで無かった人の流れ。人が少なくて安心だからと言って地方に人が来るなんてことが近年あったのでしょうか。地方が頑張って賑わいを作ろうとしていたのは、まさに



八頭に住んで2年が経ちました。



茶髪だった髪はすべて黒髪になり



靴はハイヒールからスニーカーと長靴へ



今ではりんごの木の防除のお手伝い!



《りんごの木の消毒の様子》

真逆の価値観で人が動いたのでした。これを利用するとかそういう話ではなく、少し自分の価値観が変わったと感じた出来事でした。  
(地域おこし協力隊 松下)

## 協力隊担当の現場から

\* 八頭町発見伝⑱ \*

—一つ山—

八頭町内には様々な眺望スポットがありますが、気軽にハイキングが出来て、眺めも良い場所として知られるのが「一つ山」です。旧丹比小学校の裏にあって、地元の人に親しまれており、春には桜が、冬にはイルミネーションが飾られ、山頂には狐を祀った祠があります。

頂上からは丹比地域をぐるりと眺めることができ、八東川の向こうにある遠見山も小高いところから見るようになります。若桜鉄道丹比駅から徒歩5

分程度のところにあり国道沿いからでもよく分かるので、初夏の散策にぜひ一つ山を訪れてみてください。

○一つ山へのアクセス  
・若桜鉄道丹比駅から旧丹比小学校方面に徒歩5分  
・一つ山登山口から頂上まで徒歩約5分

(商工観光室 田中)



《桜が咲く一つ山の遠望》

○移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。